

**アプリリア 2016年モデル
RSV4 RF、RS4 125/50 レプリカ、SR 50R の受注を開始**

ピアaggioグループジャパン株式会社（本社：東京都港区三田一丁目、代表取締役 フランチェスコ・ファビアーニ）は、アプリリアの2016年モデルとして、究極のスーパースポーツ『RSV4 RF』（メーカー希望小売価格 2,638,000円消費税込）を全国のアプリリア正規販売店のRSV4取扱店にて、受注を開始致します。

また、新しいグラフィックをまとった『RS4 125 レプリカ/RS4 50 レプリカ』（メーカー希望小売価格 538,000円消費税込/498,000円消費税込）、そして50ccスクーターでありながらレーシングDNAを受け継ぐ『SR 50 R』（メーカー希望小売価格 2698,000円消費税込）を全国のアプリリア正規販売店にて受注を開始致します。

■ RSV4 RF

- メーカー希望小売価格 APRILIA RSV4 RF ¥2,638,000(消費税8%込)
- 入荷時期 2016年7月(予定)

アプリリアのフラッグシップモデルであるRSV4シリーズは、2009年のデビュー以来、ワールドスーパーバイク選手権において7つものワールドタイトル獲得し、RSV4 RF デビューイヤーの2015年にはスーパーストック1000のチャンピオンにも輝くなど、スーパースポーツバイクとして着実に実績を残してきました。

心臓部であるエンジンには、スーパースポーツバイクで初となる**65度V型4気筒エンジン**を搭載。スーパーバイク直系のパワフルなエンジンは、最新かつ洗練されたダイナミックコントロール機能である電子制御ライド・バイ・ワイヤ・システムによって制御され、3種類のエンジンマッピング(T:トラック、S:スポーツ、R:レース)から最適なモードを選択することができます。

標準装備されたアプリリアの先端技術の粋である**APRC**(アプリリア・パフォーマンス・ライドコントロール)は、トラクションコントロール、ウィーリーコントロール、ローンチコントロール、クイックシフトの4種類の機能を備えます。

さらに、RSV4には**レースABS**も標準装備されています。洗練されたボッシュ社製9MPユニットが採用されたABSユニットは重量わずか2kgながら、ABS機能の3段階のモードや機能のキャンセルをインストルメントパネル上のコントロールメニューから簡単に選択することができます。

レーストラックで培われたこれらの電子制御技術は、一般のライダーにも各自のベストなスタイルを選択できる魅力的なスポーツライドを提供するだけでなく、高い安全性にも寄与します。

◆ 各部に手が加えられ、熟成されて新しくなったRSV4

最上級バージョンである『RSV4 RF』には、フロントとリアにオーリンズ製フルアジャスタブルサスペンションと、鍛造アルミ製ホイールを標準装備することにより車体の軽量化が追及され、フラッグシップモデルの名に相応しい仕上がりとなっています。新しくなったRSV4シリーズは、エンジン、シャシー、電子制御システム、そして外観に至るまで、既存のモデルから進化を果たし、よりパフォーマンスが向上しています。

PRESS INFORMATION

- **パワー向上と軽量化を実現したエンジン**

この新しくなった RSV4 のパワートレインは、既存モデル(185HP)より最高出力が 16 馬力向上(本国仕様)し、2.5Kg もの軽量化に成功しています。シリンダーヘッドは新設計で、新しいバルブスプリングやプロファイルが変更されたカムシャフト、軽量化されたクランクシャフトと振動とフリクションロスを軽減したアルミ製シリンダーライナー一体のクランクケース、さらには ECU の演算速度が約 20%向上したほか、エンジンマップの見直しや、エンジンブレーキ特性の変更など数多くの改良箇所が、パフォーマンスの向上に寄与しています。

主な変更箇所:シリンダーヘッド、コンロッド、クランクシャフト、クランクケース、カムシャフト、オイルライン、エアボックス、コントロールユニット、エクゾーストシステム、ECU など

- **バランスとアグレッシブさを増した車体**

RSV4 RF のアルミフレームは、コンパクトな車体を実現し、マスの集中化による旋回能力を高めた基本設計に加え、ステアリングステムの角度やスイングアームピボットの高さ、エンジン搭載位置をライダーの好みに調整できる機能を有している市販車唯一のスーパースポーツバイクですが、200 馬力を超えるパワーを受け止め、ハンドリングとトラクション性能を向上させるためにエンジン搭載位置やステアリングステムの角度は変更を受け、加速時の姿勢を安定させるためにスイングアームを 4mm 延長しています。さらにオーリンズ製のショックアブソーバーはセッティングを変更しています。

また、外装にも変更を加えています。フロントカウル周りには、ヘッドライトのデザインを変更し、ウインカー内蔵のバックミラーも LED を採用し、形状を一新しました。グラフィックは、スーパースポーツならではのレーシングイメージが際立ったアグレッシブなデザインを採用しました。

- **V4-MP レーシングテレメトリーを導入**

アプリリア RSV4 RF には、最新式のマルチメディアプラットフォームが標準装備されます。マルチメディアプラットフォームは、新しくなった RSV4 シリーズに対応しており、V4-MP は革新的なマルチメディアシステムで、バイクをスマートフォンにつなぐことでウェブ接続を可能とします。アップルストアまたは Google Play からダウンロード可能なこのアプリケーションを使うことで、お持ちのスマートフォン(iPhone または Android)が実際に高度で多機能なオンボードコンピュータそして車体とインターネットをつなぐツールとなります。

ワイヤレス接続により、スマートフォン画面で車体の一連の情報を見ることができるようになり、これによって走行に関するパラメータに常に目を光らせることが可能となります。この革新的なアプリケーションを使えば、お持ちのスマートフォンが実際に高性能で多機能なオンボードコンピュータとなり、車体とインターネットをつなぐ役割を果たします。ライダーは携帯電話を使って RSV4 の設定を変更でき、レーシングトラックにおける走行を向上させる方法をリアルタイムで安全に知ることができるのです。

- **アクティブ エレクトロニック セットアップ**

レース走行において「コーナー毎の」電子的管理に限りなく近づくことができます。システムがスマートフォンの GPS 機能を使ってレーストラック上のバイクの位置をいつでも認識し、コーナー毎にライダーが選択した設定に基づいて電子的調整の設定(トラクションコントロール)を自動的に変更します。これにより、トラック上の安全性とパフォーマンスを高め、集中力を妨げることなく、サーキットの各ポイントで制御パラメータを調節することができます。

PRESS INFORMATION

- アダプティブ レース アシスタント

RSV4のパフォーマンスを安全かつ最大限に生かすコツをリアルタイムでアドバイスする機能です。アプリケーションがリアルタイムで、ライダーのパフォーマンスをトラック上のベストラップと比較し、徐々にパフォーマンスを上げていく方法をすぐに示し、アシストしてくれます。

- アドバンスド テレメトリー ダッシュボード

スマートフォンのディスプレイを使って、標準のインストルメントクラスターの全情報のみならず、バイクのテレメトリーが収集する他のたくさんのパラメータも見られるようにする「バーチャルな」ダッシュボードです。例えば、ドライブシャフトが発生する瞬間出力や、瞬間トルク、最大出力に対する瞬間出力の割合(%)、リアホイールの推力、リアホイールのスリップ率、縦横加速度(G-G 図)、リーンアングルなどです。

【アプリリア・パフォーマンス・ライド・コントロール】

最新鋭の電子制御を駆使したパワーデリバリー制御システムにより、ワールドスーパーバイクでチャンピオンを獲得したテクノロジーです。プロのレーシングライダーだけでなく、趣味でバイクを駆るライダーたちへも提供される、多数の特許に基づいた高精度なシステム。左ハンドルバーに取り付けられたパドルスイッチにより、舗装やタイヤの状態に合わせて瞬時にセッティングの変更が行えます。セッティングの状態は、インストルメントパネルに新たに採用されたレースモード表示や通常表示のロードモード両方で確認することができます。

ATC アプリリア・トラクション・コントロール

APRCパッケージの基本機能で、アプリリアの特許技術から作り出されたトラクションコントロールシステムです。リアホイールがスリップした時にトルクを抑えるだけでなく、リーンアングルに合ったコーナー脱出時のテールスライドを、ライダーが的確にコントロールできるように制御します。走行中でもスロットルを閉じることなくハンドルにあるパドルスイッチを使って8段階でセッティングを変更することができます。

AWC アプリリア・ウィリー・コントロール

アプリリアが特許を独占的に所有するウィリー検知システムにより、ウィリーが始まる瞬間や、ウィリーが終わってタイヤと路面が接触する瞬間までも検知して、ウィリーの制御だけでなくリフト量や、滑らかな着地を制御します。急激な挙動の変化を防止し、加速をコントロールすることができます。

AQS アプリリア・クイック・シフト

スロットルを絞ったり、クラッチを使ったりすることなく、ペダル操作のみの1アクションで瞬間のシフトチェンジが可能です。新開発のギア比をクロスさせたギアボックスと組み合わせて、つなぎ目を感じない滑らかな最速の加速を実現します。

ALC アプリリア・ローンチ・コントロール

スタートの際に、ウィリーやホイールスピンを抑えた最速の加速に必要な最適なパワーをデリバリーします。ライダーがやるべきことはスロットルをフルに開け、クラッチを放し、ギアをシフトするだけです。3段階のセッティングが行えます。

【レースABS】

レースABSは、走行シーンに応じてライダーが3段階に設定されたABSのレベルを選択でき、パフォーマンス性と安全性を高次元で両立させ、スポーツ走行に於いてのリア・リフト・マネージメント(RLM)を行います。

PRESS INFORMATION

- **レベル1 トラックモード:** サーキット走行を想定し、いかなる速度域での激しいブレーキング時においても、可能な限り最大限の制動性能を確保します。このセッティングは「限界に挑む」楽しみから何も奪いません。
- **レベル2 スポーツモード:** ワインディング路のようなスポーティな走りを要求される場面で、車速と連動してリアのリフトアップ軽減システムが低速域で最大、高速域で最小に作動します。
- **レベル3 レインモード:** グリップの低い路面の走行を想定し、前後タイヤのスリップによるリスクを軽減します。以上の3種類のアドバンスドABSマッピングは、3種類のエンジンマッピング(Tトラック、Sスポーツ、RLレース)のいずれとも組み合わせることができ、ライダーのスキルや経験レベルによって各自の最適なスタイルを選択できます。(キャンセル機能付)



PRESS INFORMATION

RSV4 RF 主要諸元

エンジン	4 ストローク 水冷 65° V 型4気筒 DOHC 4バルブ
総排気量	999 cc
ボア × ストローク	78 mm × 52.3 mm
圧縮比	13.6 : 1
最高出力	N A(日本仕様) 201 HP(148 kW) / 13,000 rpm(本国仕様)
最大トルク	N A(日本仕様) 115 Nm / 10,500 rpm(本国仕様)
燃料供給方式	ECU 制御可変吸気エアダクト付電子制御燃料噴射 システム、 48 mm スロットルボディ、ライド・バイ・ワイヤ
点火方式	電子制御イグニッションシステム
潤滑方式	ウェットサンプ
始動方式	セルフ式
トランスミッション	6 速カセットタイプ アプリリアクイックシフト(AQS)付フルクロスレシオ
変速比	(1 速)2.600 (2 速)2.063 (3 速)1.700 (4 速)1.476 (5 速)1.348 (6 速)1.259
一次減速比	1.659
最終減速比	2.562
クラッチ	機械式スリッパシステム付湿式多板クラッチ
フレーム	アルミツインスーパーフレーム、オーリンズ製アジャスタブル・ステアリングダンパー
サスペンション(F)	オーリンズ製テレスコピック倒立フォーク 43 mm
サスペンション(R)	オーリンズ製モノショックビギーバックタイプ
ブレーキ(F)	320 mm 軽量ステンレス製フローティングデュアルディスク、 ブレンボ製 M430 モノブロック ラジアルマウント 34 mm 4 ピストンキャリパー、ABS
ブレーキ(R)	220 mm ディスク ブレンボ製 32 mm 2 ピストン フローティングキャリパー、ABS
ホイール(F)/(R)	(F) 3.5J x 17(鍛造軽量アルミ製) (R) 6.0J x 17(鍛造軽量アルミ製)
タイヤ(F)/(R)	(F) 120/70-ZR17 (R) 200/55-ZR17
全長 / 全幅 / 全高	2,040 mm / 735 mm / 1,120 mm
ホイールベース	1,420 mm
シート高	845 mm
燃料タンク容量	18.5 L
乾燥重量	180 kg

PRESS INFORMATION

RS4 125/50 レプリカ主要諸元

	RS4 125	RS4 50
エンジン形式	4 ストローク水冷単気筒 DOHC 4バルブ	2 ストローク水冷単気筒 クランクケースリードバルブ
ボア×ストローク	58 x 47 mm	39.86 x 40 mm
総排気量	124cc	49.9cc
圧縮比	120:1	115:1
エンジン出力	15HP / 10,500rpm	N/A
点火方式	電子制御イグニッションシステム	
始動方式	セルフ式	
燃料供給方式	電子制御燃料噴射システム	キャブレター
トランスミッション	6速リターン	
クラッチ	湿式多板	
フレーム	アルミニウムツインスパー ペリメーターフレーム	
フロントサスペンション	41 mm 径テレスコピック倒立フォーク ホイールトラベル 110 mm	
リアサスペンション	カンチレバー式モノショック、左右非対称スウィングアーム ホイールトラベル 130 mm	
フロントブレーキ	300 mm ステンレス製シングルディスク ラジアルマウント 4ピストンキャリパー	
リアブレーキ	218 mm ステンレス製シングルディスク 30 mm 径シングルピストンキャリパー	
ホイール	軽量アルミニウム 6本スポーク フロント: 2.75 x 17"; リア: 3.50 x 17"	
タイヤ	フロント: 100/80 - 17", リア: 130/70 - 17"	
サイズ	全長: 1968 mm 全幅: 760 mm 全高: 1,135 mm シート高: 820 mm ホイールベース: 1,353 mm	
車両重量	145 Kg	132 Kg
燃料タンク容量	145リットル(リザーブ 35リットル含む)	
製造国	イタリア	

SR 50 R 主要諸元

	SR 50 R
エンジン形式	2 ストローク 水冷単気筒
ボア×ストローク	40 mm × 39.3 mm
総排気量	49cc
最高出力	NA
最大トルク	NA
点火方式	電子制御イグニッションシステム
始動方式	セルフ式
燃料供給方式	キャブレター
トランスミッション	自動無段階変速 (CVT)
クラッチ	自動遠心クラッチ
フレーム	スチール製クレードルチューブフレーム
フロントサスペンション	油圧式テレスコピックフォーク 30 mm
リアサスペンション	モノショックアブソーバー
フロントブレーキ	190 mm ステンレス製ディスク 2 ピストンキャリパー
リアブレーキ	190 mm ステンレス製ディスク 2 ピストンキャリパー
タイヤ	フロント: 130/60-13", リア: 130/60-13"
サイズ	1,860 mm / 705 mm / 1,120 mm ホイールベース: 1,260 mm シート高: 820 mm
車両重量	108kg
燃料タンク容量	7.0 L
製造国	イタリア

■お客様お問い合わせ先:

ピアaggioコール 03-3453-3903

■報道関係者お問い合わせ先:

株式会社エーディープロジェクト

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

TEL 03-5333-1991 / FAX 03-5333-1992

広報担当 弓狩 章裕

E-Mail piaggio@adproject.co.jp